

憲法改悪を許さない全国署名

各地でこんな取り組みが ④⑥

2022年8月16日

9条改憲NO！全国市民アクション 連絡先 メール info@kaikenno.com ☎03-3221-4668

◆安倍元首相の「国葬」反対！

❖「安倍元首相の『国葬』に反対する実行委員会」 発足(8月6日)。宣伝・スタンディング・集会・学習 会など全国各地での行動を提起・呼びかけ 【東京での集会や宣伝行動】

(安倍元首相の「国葬」に反対する実行委員会、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会、9条改憲NO！全国市民アクションなどが呼びかけるもの)

8月

17日(水)18時～ 総がかり・アクションの街頭宣伝 新宿駅西口

19日(金)18時30分～ 第81回19日国会行動 議員会館前

22日(月)18時～ キックオフ集会 連合会館2F大会議室

※国葬問題で山田朗明治大学教授、安倍政治問題で 山口二郎法政大学教授が講演、行動提起

31日(水)18時～ 国葬反対8・31国会正門前大行動

9月

1日(木)18時～ ウィメンズアクションの街頭宣伝 有楽町イトシア前

19日(月)13時30分～ 国葬反対、さようなら戦争、さようなら原発
9・19大集会 代々木公園

25日(日)18時～ 総がかりユースアクション街頭集会 新宿駅東南口

26日(月)18時～ 総がかり・アクションの街頭宣伝 新宿駅西口

27日(火)「国葬」と同時刻 国葬反対国会正門前大行動と全国各地
の行動と呼応しあう全国行動

◆改憲発議許すな！軍拡STOP！

❖9条守り、憲法を生かす草の根の世論と運動の 強化が急務！

自民党が「改憲集会」活発化、27都道府県で
実施、4500人が参加(8月6日現在)―改憲など
望まない世論への重大な挑戦

◆自民党の統一協会との癒着—大臣・副大臣・政務官など政府入りで、公然とした付き合いがあっても開き直り！反社会・悪徳商法で巻き上げられた金を平気で政治献金などとして受け取っている自民党の腐敗はとんでもない、改憲や人権を語る資格などまったくない！

各地の取り組みから

取り組みの様子、ニュースなどをお寄せください（事務局）

北海道 原発推進、違憲立法の元首相の「国葬」反対と声明 苫小牧市

苫小牧市で活動する脱原発・自然エネルギーをすすめる苫小牧の会は7月24日、安倍元首相を「国葬」にすることに反対する署名を発表しました。

声明は、安倍元首相が2014年、18年の「エネルギー基本計画」で原発推進・再稼働を主導したこと、秘密保護法など非民主的な弾圧立法を次つぎ制定したこと、15年には歴代の自民党政権も否定してきた集団的自衛権行使を容認する違憲の安保法制の成立を強行したことなどを指摘。税金を使い、国民に弔意が強制されかねず、法的根拠もない手続き上の問題もあることを強調しています。こうした安倍氏の原発や核に対する認識が国民を危機的状況に追い込みかねないほど危険だったことから、国葬になどすべきでなく、国葬に反対することを主張しています。

北海道 国葬反対、改憲反対と227回目の宣伝行動 札幌市西区

札幌市西区で活動する戦争させない札幌西区民の会は7月29日、地下鉄琴似駅前でも227回目の宣伝行動を行い、「今やるべきことは戦争しないと誓った憲法を守り生かすこと」とアピールし、「憲法改悪に反対する全国署名」の協力を呼びかけました。

戦争の記憶をウクライナに重ねて語る80代の女性、息子や孫を戦争に絶対行かせないと60代の女性らが次つぎ署名しました。

安倍元首相の「国葬」が法的根拠もなく、閣議決定で決めることは許されないとの訴えには通行人もうなずいていました。

青森 「戦争いやだよ、国葬だめ」、「んだんだ」 県九条の会が宣伝

青森県九条の会は7月28日、青森市の新町商店街で、宣伝・署名行動を取り組みました。「憲法改悪を許さない全国署名」の協力を訴えました。

スピーチと対話では、「戦争いやだよ」「平和の外交こそ大事」「国葬はとんでもない」と語りかけると「んだんだ」と岸田政権の国葬実施の閣議決定に抗議、国葬反対の声があがり、署名が寄せられました。

福島 若い人たちとともに改憲反対、「国葬」反対 革新懇が総会

福島県革新懇は7月23日、福島市内で開いた年次総会で市民と野党の共闘、革新懇運動の前進、改憲反対、原発ゼロ、汚染水放出阻止のたたかい、暮らしと健康を守る運動などに力を尽くそうとの方針について討議・確認しました。

総会の記念講演は菱山南帆子さん（戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会運営委員、許すな！憲法改悪・市民連絡会事務局長）が行いました。菱山さんは、参院選結果や改憲の動きについて述べるとともに、安倍元首相の「国葬」に反対しようと強調しました。参院選後の「黄金の3年」について、「多数をとられしょんぼりするわけに

はいかない、必死になって改憲発議をさせない世論をつくろう」と訴え、「楽しく明るく、寄り添いと共感を大事にし、若い人たちを迎え入れられる運動のアップデートを」と呼びかけました。

千葉 サイレントスタンディングで国葬おかしいと対話次つぎ 市川市

市川市の**市民有志グループ**は7月30日市内で、9人が参加して、安倍元首相の「国葬」に反対するサイレントスタンディングを行いました。

「国葬閣議決定は憲法違反」「私は自分の心を動員されたくない」「おかしくね？税金の使い方」などと書いた手作りのプラカードを持って並び、訴えました。

スピードを落としてあるきながらプラカードを一枚一枚読み上げて通り過ぎる人、「私も国葬に反対です」と声をかけてくる高齢者や若者もいました。対話になり「安倍さんはかわいそうだけど国葬の問題とは別問題よね」と語る女性、「署名はないのか」といつてきた女性とはアドレスを交換し、今後も情報を伝えることになりました。

参加者は、「サイレントでも対話になった、これからも続けよう」と話し合いました。

愛知 「国葬」反対ちょうちんデモ・スタンディング 名古屋市中川区

名古屋市中川区で2012年8月からこれまで、その時々的重要課題を掲げてちょうちんデモを続けている「**ちょうちんデモの会**」が呼びかけたちょうちんデモ・スタンディングが7月27日夜、中川区尾頭橋（おとうばし）商店街で取り组まれました。

参加者はちょうちんを手に、「国葬反対」「弔意強制反対」などの手作りのプラカードをかかげ商店街を「国葬やめて」などとコールして訴えました。デモ終点の尾頭橋交差点ではちょうちんとプラカードを掲げスタンディングを行いました。買い物客や通行人から声援が寄せられました。

岐阜 被団協・木戸さん「9条こそ平和を守る力」 サロン9条例会

岐阜・九条の会が定期的に取り組んでいる「サロン9条」の7月例会が開かれ、日本被団協の木戸季市（すえいち）さんが講演しました。例会には20人が参加しました。

「核兵器も戦争もない世界をめざして」と題して木戸さんは、参加した6月の核兵器禁止条約第1回締約国会議で、5歳の時長崎で被爆したこと、77年間の被爆者としてのたたかい、核兵器も戦争もない世界の実現で人類を救うことの重要性を訴えた自身の締約国会議での活動について報告しました。

同条約について署名も批准もしない被爆国日本の政府の態度は世論とも、世界の流れとも逆行すると強く批判。日本は、憲法9条があったからこそ戦争で命を奪ったり奪われたりしなかったこと、軍備拡大では平和は実現しないことを訴え、憲法9条こそ平和を守る力を持っていることを広く国民と共有すること、「9条が世界の規範として国際条約になれば、核兵器も戦争もない世界が実現できる」と強調しました。

鳥取 市民と野党合同で平和・くらし、「国葬反対」を訴え 鳥取市

鳥取県内の野党と市民の代表が7月24日、JR鳥取駅北口前で「市民と野党合同街頭アピール」を行いました。

市民と野党の代表は、平和、暮らしを守る政治の実現、改憲反対を訴えました。安倍首相の「国葬」に反対する発言も相次ぎました。

参加し訴えた政党代表は、岡田正和（日本共産党鳥取県東・中部地区委員長）、米村正一（社会民主党鳥取県連合幹事長）、中宇治節雄（新社会党鳥取県本部書記長）でした。

香川 「国葬反対」私も発信 有志がスタンディング 高松市の商店街

閣議決定で9月に安倍元首相の「国葬」が行われるとされていることを受け、高松市の「**国葬**」に反対する**市民と有志**が7月28日、市内の商店街でスタンディングで抗議行動を行いました。

「#国葬反対」「安倍さんの死を政治利用しないで」などのプラカードをかかげアピールしました。通行人からは「訴えに賛成」とグータッチを求めたり、「がんばってください

い。私もツイッターで発信します」と声かけられました。

愛媛 総会・講演会で「国葬」のねらい説明 **愛媛九条の会**

愛媛九条の会は7月23日、松山市内で第19回総会と講演会を開き、100人が参加しました。

総会では、岸田首相が安倍元首相の国葬実施を決めたが、これは、改憲と軍事大国化を推し進めた安倍元首相への批判を封じ、改憲発議をねらうために政治利用するもので容認できないこと、憲法の意義を改めて確認し、9条を守るために運動を強めることなどの方針を決めました。

総会には3年前の選挙で、市民と野党の共同で議席を得た永江孝子参議院議員が来賓として参加、参加者を激励しました。白井聡京都精華大学准教授が記念講演を行いました。

愛媛 「国葬」の政治利用許すな、閣議決定の撤回を **松山市**

安保法制の廃止を求める愛媛の会は7月29日、松山市内で街頭宣伝に取り組みました。宣伝ではリレートークで、安倍元首相の「国葬」閣議決定の撤回、自民党と統一協会の癒着の構造と問題を明らかにするよう求め、訴えました。

スピーチでは、安倍元首相による民主主義破壊、憲法破壊の数々の政治、政治の私物化、国会軽視などを告発するとともに、岸田内閣が急いで国葬実施を閣議決定したのは、これらの悪政にふたをするものではないか、国葬の哀悼ムードで自民党と統一協会と癒着問題をうやむやにするものではないか、国民の内心の自由を踏みにじり、弔意を強制するものではないか、おかしいものはおかしいと声をあげようではないかなどとの訴えが注目されました。

長崎 19団体が「国葬断固反対」の声明、記者会見で訴え **長崎市**

長崎県の**長崎被災協、女の平和in長崎、憲法改悪阻止長崎県共同センター、長崎県平和運動センター・被爆者連絡協議会など19団体**は7月22日、記者会見を行い、岸田首相が安倍元首相の「国葬」実施を発表したことに対し、「国葬に断固反対する」との声明を発表しました。

声明では、安倍氏は、安保法制の強行や、秘密保護法、共謀罪の成立、モリ・カケ・サクラなどで示された法秩序と民主主義じゅうりん・破壊の政治を進めてきたことを指摘し、国費をかけて国葬にすることについて、少なからぬ国民が違和感を持つ、などとして、国葬は許されないと訴えています。声明文は岸田首相と各政党、報道各社に郵送されました。